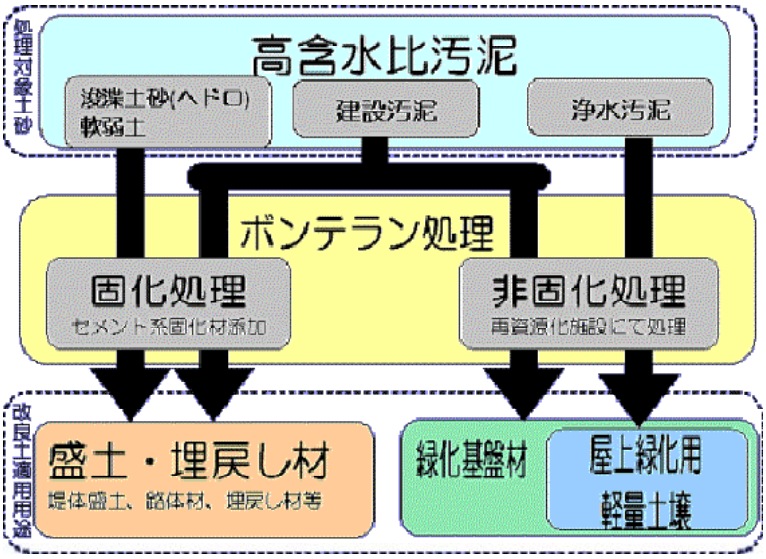
資料－２

ボンテラン工法

本技術は、高含水比の建設汚泥、浚渫土砂、軟弱土、浄水汚泥等に古紙破砕物や水溶性ポリマー・助剤を添加混合することで、脱水処理することなく団粒固化し、盛土材や緑化基盤材にリサイクルする工法である。また、必要に応じてセメント系固化材を混合することで必要強度を発現させることができる。従来は、含水比100%程度までが適用範囲とされていたが、本技術では古紙破砕物を添加することで、含水比500%まで適用可能としている。



施工概要



①原泥の状態
（高含水比状態）

②古紙破砕物を添加・混合

③水溶性ポリマー、助剤を添加・混合